

可決された案件 (要旨)

◎: 全員賛成
▽: 賛成多数

◎福生市体育施設条例の一部を改正する条例

昭和43年に開場以来42年が経過し、市民の健康増進等に大きな役割を果たしている市営プールを、さらに最大限活用し市民等の使用機会の拡大を図るため、プールの開場時間を変更しようとするもので、従来の午前10時を午前9時に改めようとするもの。

◎福生市体育館条例の一部を改正する条例

開館以来37年が経過し、利用者、利用団体も増加している中央体育館は、利用者から旧教育委員会事務室を使用したいとの要望があるので、市民等の利用に供するため中央体育館施設に多目的室を追加し、また、使用料は中央体育館の同規模の施設と同額に定める条例改正をするもの。

◎福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例

出産育児一時金について、国の緊急少子化対策の暫定措置として、平成21年10月から平成23年3月末までは4万円を引き

上げ39万円としているが、4月以降も支給額を据え置く国の方針から、本条例の経過措置を廃止し、本則で39万円に改めるもの。

◎福生市下水道使用料条例の一部を改正する条例

前回改正から5年が経過した使用料の見直しをするもので、現下の経済情勢を考慮し、大規模な事業所の排出量1万立方メートルを超える分の改定を行い、用語の整理をするもの。

なお、料金改定による影響は市内一般家庭等はなく、横田基地が該当し、年間9200万円増を見込むもの。

◎福生市スポーツ振興審議会設置条例

スポーツ振興に関する計画の策定及び重要事項について調査、審議するため設置するもので、任期は2年、審議会委員は公募による市民1名を含め、市内スポーツ関係者、学識経験者等7名以内で構成しようとするもの。

◎福生市男女共同参画審議会条例を廃止する条例

平成22年3月議会で議決後設置された審議会は、延べ5回にわたり女性施策の課題や推進のあり方等を審議、22年11月に答申、23年1月にパブリックコメントによる市民の意見反映を経て男女共同参画行動計画第4期が策

定されたことに伴い、審議会の所期の目的が達成されたことから廃止するもの。

◎福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

男女共同参画審議会条例の廃止に伴う本審議会委員の削除、収納対策の重点を訪問徴収から財産差押事務へ移行したことに伴う市税等収納嘱託員の削除、新たに、スポーツ振興審議会設置に伴う



▲中央体育館

▽平成22年度福生市一般会計補正予算(第3号)

年度末を迎え歳入歳出ともに、事業費の精査による額の確定に伴う補正のほか、主なものでは国の補正予算に伴う地域活性化交付金を活用した市民会館外壁改良事業などの追加、防衛補助事業の消防ポンプ自動車購入などで、歳入歳出それぞれ

3109万4千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ218億7649万8千円とするもの。

◎平成22年度福生市一般会計補正予算(第4号)

国庫支出金の地域活性化交付金「住民に光をそそぐ交付金」の第2次交付限度額追加内示が2月14日だったため、急遽補正として追加されたもので、歳入として1267万7千円の追加。充当される歳出には、子ども家庭支援センターの備品購入費、学校図書への備品購入費、ふるさとづくりまちづくり基金積立金の追加など、歳入歳出それぞれ1267万7千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ218億8917万5千円とするもの。

▽平成22年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

主な補正内容は、非自発的失業者にかかる保険料軽減措置のためのシステム改良委託料の一般会計からの組み替えと、診療報酬明細書の電子化に伴う東京都国民健康保険団体連合会のシステム機器更新に係る分担金の追加など、歳入歳出それぞれ2352万6千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ61億8654万5千円とするもの。

保健医療特別会計補正予算(第2号)

老人保健医療制度から後期高齢者医療制度への移行に伴い、平成22年度をもって本特別会計を廃止することから、支払基金交付金並びに国庫支出金等の精算分を整理し、一般会計に繰り出し、繰り出すもので、歳入歳出にそれぞれ117万1千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ983万6千円とするもの。

▽平成22年度福生市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入では平成21年度決算の確定に伴う繰越金の追加、歳出では広域連合納付金のうち療養給付費負担金の額の確定に伴う追加で、歳入歳出にそれぞれ4232万1千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ8億7406万7千円とするもの。

◎平成22年度福生市下水道事業会計補正予算(第3号)

歳入歳出事業の精査、また、確定による減額補正で、主なものは東京都西多摩建設事務所施工の多摩橋通り拡幅の関連工事が、23年度に移行することによる起債6060万円の減額等で、歳入歳出それぞれ6779万8千円を減額し、歳入歳出予算総額をそれぞれ15億8614万円とするもの。

討論

平成22年度福生市一般会計補正予算(第3号)

■反対

多くの市町村は国保税の高騰を抑え、自治体独自の減免を行うため国の基準法定額以上の一般会計からの繰り入れを行っているが、

平成22年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

■反対

国民の命と健康、暮らしを守り、国民健康保険の本来の役割を取り戻すため国保税を引き上げの押しつけをやめ、値下げに転換するよう求めて何度も問題を指摘し、提案してきたにもかかわらず、

平成23年度福生市一般会計予算

■賛成

第4期総合計画の2年目としてJR牛浜駅改修工事の着手、シテイセールの推進など各分野へ多くの施策が盛り込まれていることを指摘し、反対する。

り込まれ、大震災の復興により福生市の命綱である地方交付税の影響も懸念されるが、財政基盤の強化は大きな課題であり、市税等の取納向上や行政改革の積極的な取り組み、5つの元気施策の着実な推進を期待し、賛成する。

■賛成

市民生活を守るための扶助費の増、各種ワタクン助成、念願だった牛浜駅自由通路の工事着手、コンビニ収納、次世代モビリティ活用モデル事業の推進、小学校家庭防球ネット改良事業などで、大震災の災害支援にも積極的に支援できる行政運営を期待し、厳しい財政状況の中で創意工夫した予算編成であること評価し、賛成する。

■賛成

歳入では市税の大幅な減額見込みだが、国の地方財政計画による普通交付税の増や大規模事業所の下水道使用料の増額見込み、歳出では子宮頸がん予防ワクチン接種助成、スクールカウンセラーの全校配置、ボランティアによる学校支援地域組織事業の導入、電動アシスト自転車の実証実験など新事業に果敢に挑戦する行政運営と判断し、賛成する。

■反対

多くの自治体が国保税高騰の抑制のため一般会計から公費を繰り入れてくるが、不公平な値上げを撤回することなく繰入金を増額し、資格証の発行は直ちにやめるべきで、また75歳以上の高齢者を強制的に囲い込んで医療費削減の標的にする市民いじめの後期高齢者医療特別会計予算が含まれていることを指摘し、反対する。

■反対

高過ぎる国民健康保険税、がん検診の希望者への予算拡大はなく、後期高齢者医療制度への市独自の助成制度も

なし、福祉バスの運行も発展がなく、住宅リフォーム助成も市内建設事業者活性化の取り組みがない。教育面では図書館の専任教師が不在で十分に活用が図れず、ランチルーム利用者の補助もない。住民が主人公を貫く改革を目指し、反対する。

平成23年度福生市国民健康保険特別会計予算

■賛成

歳入の国民健康保険税の減は昨今の経済状況や雇用情勢の悪化が大きな要因となっているが、今後は東京都国民健康保険団体が進める国保総合システムの導入やさらなる収納率向上への対策、ジェネリック薬品の活用促進、特定健診や保健指導の受診率向上、健康ふっさ21事業の推進と健康増進施策の強化など市民に理解と協力を要望し、賛成する。

■反対

多くの自治体が国保税高騰の抑制のため一般会計から公費を繰り入れてくるが、不公平な値上げを撤回することなく繰入金を増額し、資格証の発行は直ちにやめるべきで、また75歳以上の高齢者を強制的に囲い込んで医療費削減の標的にする市民いじめの後期高齢者医療特別会計予算が含まれていることを指摘し、反対する。

■反対

高過ぎる国民健康保険税、がん検診の希望者への予算拡大はなく、後期高齢者医療制度への市独自の助成制度も